

2022年度 決算のお知らせ

～特別勘定の現況～

【対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日】



この商品は、2009年3月31日をもって新規のお取扱いを停止させていただいており、一時投入保険料のお払込み（増額）のみのお取扱いとさせていただいております。一時投入保険料のお払込み（増額）をご検討いただく際には、必ず「特に重要なお知らせ」をあわせてご覧ください。

明治安田生命保険相互会社

ご契約の最新情報は

明治安田生命ホームページ

<https://www.meijiyasuda.co.jp/>

お問い合わせは

明治安田生命コミュニケーションセンター



ようこそ ハロー
0120-453-860

一時払変額個人年金保険（災害3割増型）の投資リスク

- ◆ この保険では、保険料を国内外の株式や債券等に投資する特別勘定で運用し、その運用実績によって積立金額が変動（増減）するため、ご契約者は、経済情勢や運用状況によっては一定の収益を期待できますが、一方で株式その他有価証券の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクも負うことになります。運用実績によってはお受け取りになる返戻金額等が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ◆ 運用実績の評価は、プラスの場合もマイナスの場合も、直接、死亡給付金額、返戻金額および将来の年金受取額等に反映され、すべての投資リスクはご契約者に帰属いたします。
- ◆ 特別勘定における資産運用では、主に以下の投資リスクがあります。

投資リスクの種類	投資リスクの内容
①価格変動リスク	株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、有価証券の市場価格の変動を反映するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
②金利変動リスク	債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、政策金利や市場金利が変動することにより公社債等の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
③為替リスク	外貨建資産に対して投資する特別勘定では、運用資産の評価に使用する為替レートが変動することにより外貨建資産の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。また、為替ヘッジを行う場合、円とヘッジ対象通貨との金利差相当額分のヘッジ・コストがかかります。
④信用リスク	債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの発行体が、経営状況および財政状況の悪化や倒産等の理由により、利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなることがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
⑤流動性リスク	株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、流動性の低い株式や債券を売買する場合、売買を希望する時期に市場実勢から期待される適正な価格や希望する数量で売却できないことがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
⑥カントリーリスク	海外の株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの投資対象国の政治・経済・社会状況の不安定化に伴う金融・証券市場の混乱により、投資対象国の資産価格が大きく変動することがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。

特別勘定の種類と運用方針について

- ◆ 特別勘定の種類と各特別勘定で投資を予定している投資信託は当社が定めます。特別勘定では投資信託のほか、保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有します。
- ◆ 特別勘定の種類と特別勘定の運用方針については、今後変更することがあります。

特別勘定の種類 コード	運用方針	資産運用関係費 (投資信託の信託報酬) (年率)	組入れ投資信託の特色・主な投資リスク		
		投資信託委託会社			
バランス(安定)型 0425	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型投信「明治安田VAハートフルライフ30(適格機関投資家私募)」に投資することにより行います。	0.5500% (税抜0.50%)	明治安田 アセットマネジメント 株式会社	国内外の株式・公社債へ分散投資し、長期的な信託財産の成長を目指します。 株式運用においては国際銘柄比較を重視した企業リサーチに基づいて銘柄を選択し、債券運用においては各国経済の中期的な分析・予測に基づいて国別配分を決定して、付加価値を追求します。為替リスクに対するヘッジは原則として行いません。 基準組入比率は右記のとおりです。価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等があります。	日本株式： 20% 日本債券： 60% 外国株式： 10% (為替ヘッジなし) 外国債券： 10% (為替ヘッジなし)
バランス(成長)型 0426	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型投信「明治安田VAハートフルライフ50(適格機関投資家私募)」に投資することにより行います。	0.6380% (税抜0.58%)			明治安田 アセットマネジメント 株式会社
日本株式型 0429	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型投信「明治安田VA日本株式オープン(適格機関投資家私募)」に投資することにより行います。	0.8030% (税抜0.73%)	明治安田 アセットマネジメント 株式会社	日本株式に投資し、TOPIX(東証株価指数)を中長期的に上回る投資成果を目指してアクティブ運用を行ないます。グローバルなリサーチ体制のもと、企業の成長性、クオリティー(経営内容の質、財務体質等)、企業価値評価を重視して成長株への投資を行います。 日本株式の価格変動リスク等があります。	
日本成長株式型 0430	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3(適格機関投資家専用)」に投資することにより行います。	0.9680% (税抜0.88%)	フィデリティ投信 株式会社	日本株式に分散投資し、長期的にTOPIX(配当金込)を上回る運用成果をあげることを目標とします。綿密な企業調査に基づき、業種や企業規模を限定せずに将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して、妥当と思われる株価水準で投資を行います。 日本株式の価格変動リスク等があります。	
マネー型 0436	コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。 なお当該特別勘定では、明治安田生命が直接運用します。	資産運用関係費は かかりません	—		

資産運用関係費について

- 資産運用関係費は主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。投資信託の信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して上記の所定の率を乗じたものです。また資産運用関係費には、信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかります。
- 公表されるユニット価格は、資産運用関係費および保険契約関係費を控除した後のものです。
- 資産運用関係費については、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

組入れ投資信託の詳細について

- マネー型を除く各特別勘定に組み入れる投資信託の基本的性格、投資方針、投資リスク等については、「特別勘定のしおり」に記載しております。

マネー型について

- マネー型が投資する安全性の高い短期金融資産は一般的に利回りが低いため、保険契約関係費を控除した後の積立金が継続的に減少することがあります。

保険契約関係費などの諸費用について

◆ 据置期間中の費用や年金支払期間中の費用など契約者にご負担いただく費用があります。

1. 年金開始日前の費用

(ア) すべてのご契約者にご負担いただく費用

● 次の費用を控除したうえでユニット価格は計算されます。

項目	目的	費用	時期
保険契約関係費	死亡給付金・災害死亡給付金のお支払いや、ご契約の締結・維持に必要な費用	特別勘定の資産総額に対して、年率1.458%	特別勘定の資産総額に対して、年率1.458%/365日を毎日控除します
資産運用関係費	特別勘定の運用にかかわる費用です。投資信託の信託報酬や信託事務の諸費用等を含みます	各特別勘定において利用する投資信託により異なります。詳しくは、 特別勘定の種類と運用方針 についてをご覧ください。	投資信託の信託報酬は、各特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して、所定の率を乗じた金額を毎日控除します

※資産運用関係費は、主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。また、投資信託の信託報酬の他にも、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金など特別勘定の運用に係る費用等が控除されます。信託報酬以外のこれらの諸経費等については、投資信託委託会社における運用により発生し、その運用方法によって変動することから、費用の発生前にその金額や割合などを確定させることが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、ユニット価格に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。

※資産運用関係費は、運用手法の変更や運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。

(イ) 特定の場合にご負担いただく費用

● 特別勘定のユニット価格を計算した後に特定のご契約者にご負担いただけます。

項目	ご負担いただく場合	費用	時期
保険契約維持費	月単位の契約応当日の前日に既払込保険料相当額が200万円未満の場合	毎月400円	月単位の契約応当日の前日に積立金から控除します
解約控除	契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から解約日・一部解約日の翌営業日までの経過年数が10年未満の解約または一部解約の場合（契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から10年以上経過後に解約・一部解約する場合には解約控除はありません）	契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）からの経過年数に応じ、既払込保険料相当額に対して6.0%～0.6%の解約控除率を乗じた金額	解約・一部解約時にお支払いする積立金から控除します

2. 年金開始日以後の費用

項目	費用	時期
保険契約関係費	年金年額に対して1.0%*	年金開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します

* 上記の率は、将来変更となる可能性があります。

ご契約者にご負担いただく諸費用の合計額は、上記の「保険契約関係費」と「資産運用関係費」の合計です。なお、既払込保険料相当額が200万円未満の場合には「保険契約維持費」、契約日から10年未満の解約・一部解約の場合には「解約控除」がかかります。

1. 市場概況

◆国内債券◆

国内債券市場では、長期金利は、日銀の許容変動幅の上限である0.25%近辺で推移した後、12月金融政策決定会合での許容変動幅拡大を受け、0.5%台まで上昇しました。その後、日銀が金融緩和政策の継続を決定したこと等から金利は低下し、10年国債利回りは前年度末対比0.110%高い0.320%で引けました。

◆国内株式◆

国内株式市場は、世界的な金融引き締め加速観測等により6月中旬にかけて軟調に推移した後、円安進行による業績改善期待等から8月中旬にかけて急反発しました。その後、世界的な利上げペース加速に対する警戒感等から9月下旬にかけて大きく下落した後、米インフレ指標の鈍化を受けたF R Bの金融政策転換への期待等から下値を切り上げる展開となりました。年末にかけて日銀の許容変動幅拡大を受けて急速に円高が進行したこと等から再び下落しましたが、年明け以降は、円高の一服や東証の企業価値向上策への期待等から上昇基調で推移し、日経平均は前年度末対比220円高い28,041円で引けました。

◆外国債券◆

米国債券市場では、長期金利はインフレ抑制を企図したF R Bによる急速な利上げを受けて10月下旬にかけ上昇基調で推移した後、インフレ鈍化による利上げペース鈍化観測とそれに対するF R B高官の牽制発言が交錯するなか、経済指標の強弱を受けて金利は上下に振られる展開。米国10年債利回りは前年度末対比1.129%高い3.470%で引けました。

◆外国株式◆

米国株式市場は、ウクライナ情勢の緊迫化と欧米各国のロシアへの経済制裁、世界的インフレを受けた各国中銀の急速な利上げとそれを受けた景気後退懸念が株価の下落圧力となった一方、市場予想より良好な企業決算や底堅い米個人消費の持続、F R Bのハト派化観測による局所的な反発局面を挟むことで上下に振れながら推移し、NYダウは前年度末対比1,404ドル低い33,274ドルで引けました。

◆為替◆

為替については、F R Bの利上げによる内外金利差拡大を受けて円安が進行した後、F R Bの金融引締め鈍化観測や12月の日銀によるYCC上限引上げからやや値を戻し、対ドルでは前年度末対比11円14銭安の133円53銭で終わりました。また、欧州でも同様の内外金利差拡大等により12月にかけて円安が進行し、対ユーロでは前年度末対比9円02銭円安の145円72銭で終わりました。

2. 保有契約高（2022年度末）

（単位：件、百万円）

区分	件数	金額
一時払変額個人年金保険（災害3割増型）	44	99

- ・保有契約高には、年金開始後契約等の一般勘定部分を含めています。
- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

3. 特別勘定資産の内訳（2022年度末）

（単位：百万円、%）

区分	投資信託		短期金融資産等		合計	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
0425 バランス（安定）型	29	97.4	0	2.6	29	100.0
0426 バランス（成長）型	29	98.2	0	1.8	29	100.0
0429 日本株式型	36	98.0	0	2.0	36	100.0
0430 日本成長株式型	45	97.6	1	2.4	46	100.0
0436 マネー型	-	-	4	100.0	4	100.0

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

4. 特別勘定の運用収支

(単位：百万円)

区分	0425 バランス (安定)型	0426 バランス (成長)型	0429 日本株式型	0430 日本成長 株式型	0436 マネー型
利息配当金等収入	1	0	-	1	-
有価証券売却益	-	0	-	0	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-
有価証券評価益	8	13	10	15	-
為替差益	-	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-
有価証券売却損	0	-	-	0	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-
有価証券評価損	10	15	12	15	-
為替差損	-	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-	-
その他の費用	-	-	-	-	-
収支差額	△ 1	△ 1	△ 2	1	-

・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

5. 特別勘定の運用実績

各特別勘定の運用実績につきましては、次ページ以降をご参照ください。

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

バランス(安定)型

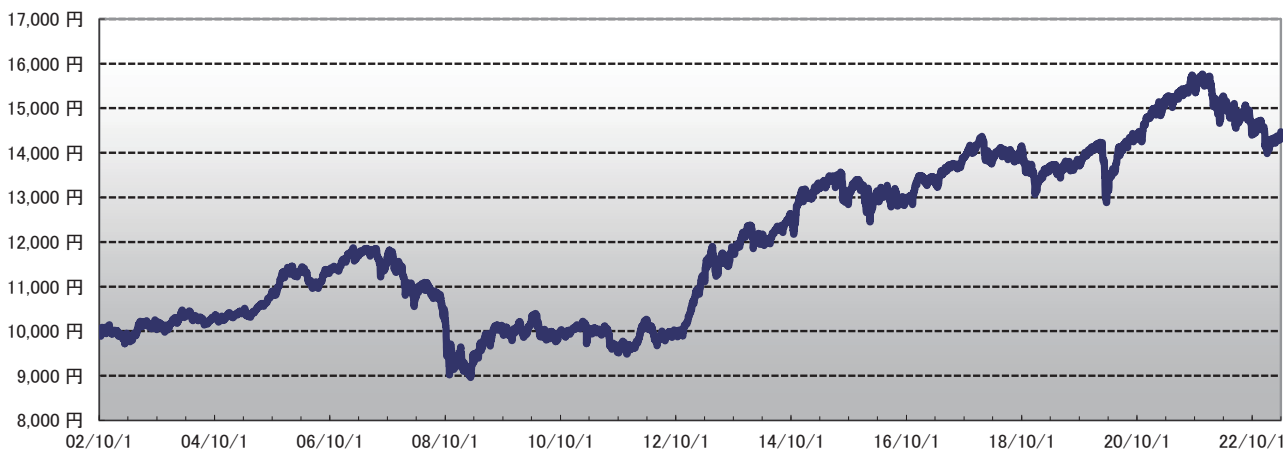
コード:0425

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+1.17%、直近1年で-5.21%、設定来で+44.76%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	14,475.64676578	直近1カ月	+1.17%
2023年2月末	14,308.44763500		
2023年1月末	14,198.92729413	直近3カ月	+2.75%
2022年12月末	14,088.78661991		
2022年11月末	14,582.88383697	直近6カ月	+0.19%
2022年10月末	14,697.08598583		
2022年9月末	14,448.02843397	直近1年	-5.21%
2022年8月末	14,831.60921167		
2022年7月末	14,891.14997515	直近3年	+8.54%
2022年6月末	14,704.76567875		
2022年5月末	14,960.02595824	設定来	+44.76%
2022年4月末	15,011.39943435		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 明治安田VAハートフルライフ30(適格機関投資家私募)
 設定・運用: 明治安田アセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

バランス(成長)型

コード:0426

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+1.26%、直近1年で-5.47%、設定来で+86.18%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	18,618.43256151	直近1カ月	+1.26%
2023年2月末	18,387.61365419		
2023年1月末	18,226.11043758	直近3カ月	+3.76%
2022年12月末	17,942.91861419		
2022年11月末	18,759.71358054	直近6カ月	+1.50%
2022年10月末	18,907.65983161		
2022年9月末	18,343.50476363	直近1年	-5.47%
2022年8月末	18,995.92779775		
2022年7月末	19,078.15712801	直近3年	+19.73%
2022年6月末	18,711.47773496		
2022年5月末	19,120.50402500	設定来	+86.18%
2022年4月末	19,181.49118081		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 明治安田VAハートフルライフ50(適格機関投資家私募)
 設定・運用: 明治安田アセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

日本株式型

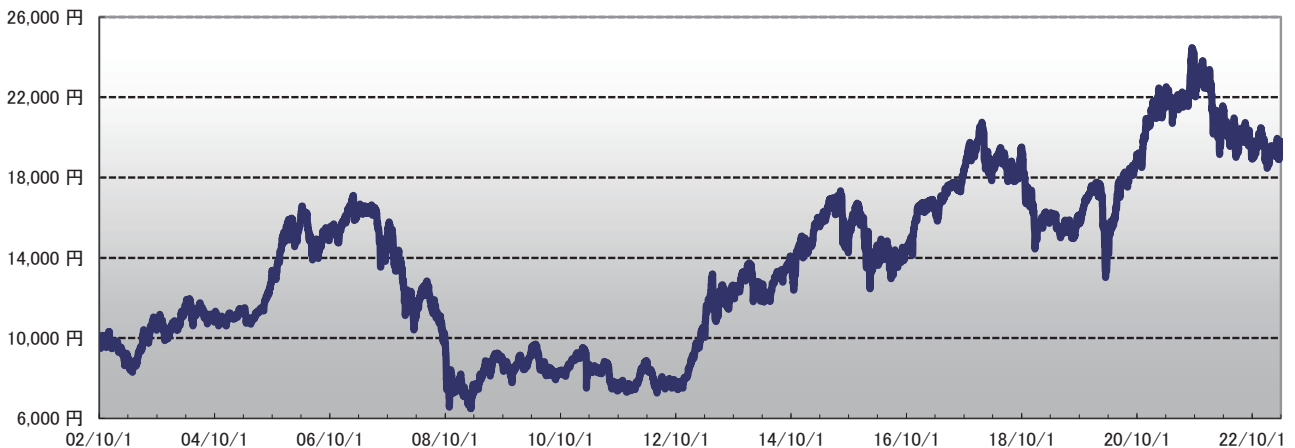
コード:0429

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+2.84%、直近1年で-7.16%、設定来で+98.03%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	19,802.57263014	直近1カ月	+2.84%
2023年2月末	19,256.34295269		
2023年1月末	19,370.64340705	直近3カ月	+5.46%
2022年12月末	18,777.23932886		
2022年11月末	20,118.03894311	直近6カ月	+4.68%
2022年10月末	19,733.76164853		
2022年9月末	18,917.66859967	直近1年	-7.16%
2022年8月末	20,075.79357686		
2022年7月末	20,187.99048569	直近3年	+33.25%
2022年6月末	19,508.12922311		
2022年5月末	20,438.28612215	設定来	+98.03%
2022年4月末	20,407.72409618		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 明治安田VA日本株式オープン(適格機関投資家私募)
 設定・運用: 明治安田アセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

日本成長株式型

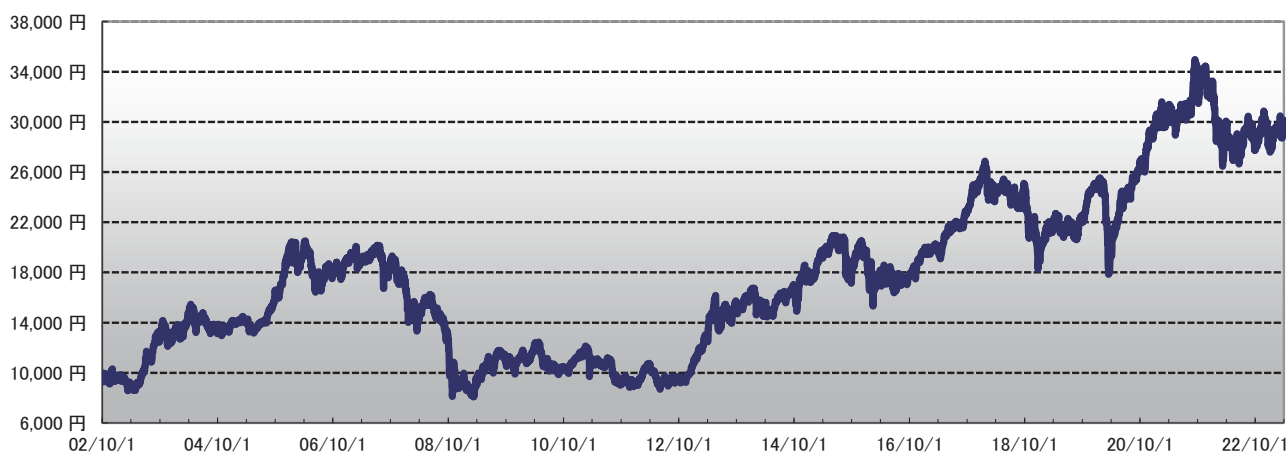
コード:0430

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+2.65%、直近1年で+1.44%、設定来で+201.42%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	30,141.50953887	直近1カ月	+2.65%
2023年2月末	29,363.52320718		
2023年1月末	29,331.51909884	直近3カ月	+7.72%
2022年12月末	27,980.93744209		
2022年11月末	30,172.72560502	直近6カ月	+8.39%
2022年10月末	29,357.46629912		
2022年9月末	27,808.64800619	直近1年	+1.44%
2022年8月末	29,474.51950908		
2022年7月末	28,970.91396049	直近3年	+47.75%
2022年6月末	27,633.76777333		
2022年5月末	28,329.64189972	設定来	+201.42%
2022年4月末	28,379.17035904		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託:フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3(適格機関投資家専用)

設定・運用:フィデリティ投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

マネー型

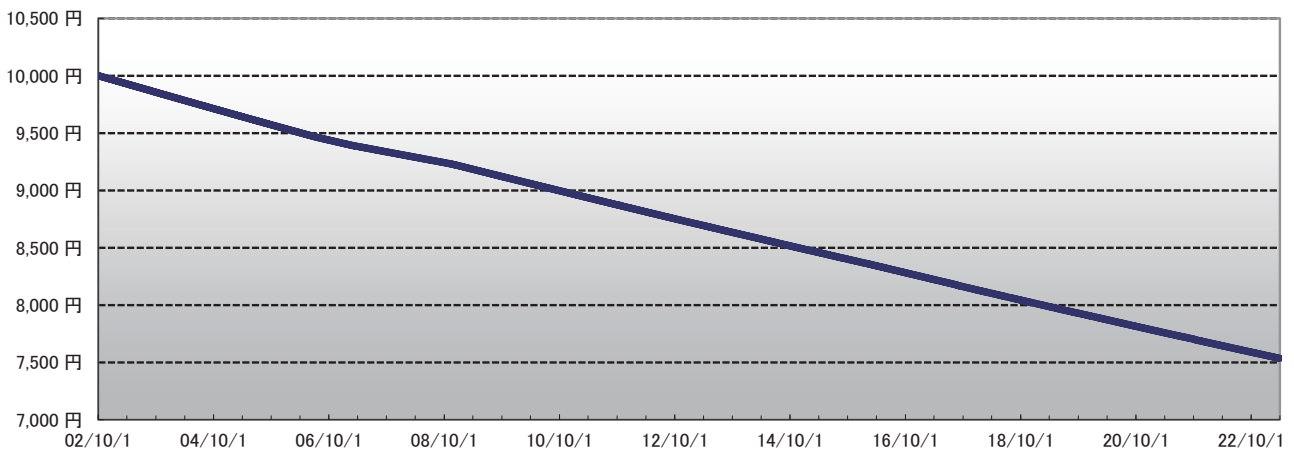
コード:0436

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.12%、直近1年で-1.44%、設定来で-24.65%でした。
運用方針に従い、コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	7,534.87246115	直近1カ月	-0.12%
2023年2月末	7,544.17458143		
2023年1月末	7,552.57649652	直近3カ月	-0.36%
2022年12月末	7,561.92529410		
2022年11月末	7,571.25292607	直近6カ月	-0.72%
2022年10月末	7,580.30149085		
2022年9月末	7,589.63760191	直近1年	-1.44%
2022年8月末	7,598.70779980		
2022年7月末	7,608.08033762	直近3年	-4.28%
2022年6月末	7,617.49252657		
2022年5月末	7,626.61228839	設定来	-24.65%
2022年4月末	7,636.03604226		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

お問い合わせ、ご照会は

募集代理店	引受保険会社 明治安田生命保険相互会社 本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 電話 03 (3283) 8111〔代表〕 ホームページ https://www.meijiyasuda.co.jp/
-------	--